

自己点検・評価報告書

日本語教育機関名：与野学院日本語学校

点検・評価実施日：2022/3/1

実施責任者：校長 谷 一郎

実施担当者名(役職)：教務主任 大知里 弘美、事務長代行 花田 涼

<総論>

今年度は、コロナによる混乱により、校内の体制は現状維持が精いっぱいであった。1年間新入生の受入れがないうえに、教職員、学生ともに行動が制限されていたため、例年とは違う対応を強いられた。しかし、在籍者数も少なかったため、大きな混乱はなく、逆にこのような現状維持できたことこそ、評価できる。

<教育の理念・目標>

理念は、教員会議、校内での掲示を通じて、十分に周知されている。

<学校運営>

規程に基づいた運営は引き続き機能している。一方、コロナ禍での混乱により、ますます中長期の運営計画、年度予算の編成と執行ルールの明確化どころではなく、大きな前進はなかった。

<教育活動の計画、実施>

教育活動の計画、実施面においては、規程通り安定して実施されている。

<成績判定と授業評価>

成績判定、進級や卒業認定は、適切に行われている。

<教育活動を担う教職員>

教員の自己評価は、適切に行われ、機能している。教員・職員の評価制度は、教員・職員評価シートの活用により、順調に機能している。コロナ禍であっても、教職員の研修は継続されており、質向上への努力が続けられている。

<学修成果>

教育成果の判定は、適切に行われており、進路の把握も漏れなく行われている。しかし、卒業生の状況把握の仕組みとして、導入したスマートフォン向けアプリは、様々な不具合が発生し見直すこととなった。

<生徒支援>

適応、生活、進路、在留等の支援は、概ね十分にできている。来日時期がバラバラとなるコロ

ナ禍特有の状況に対応するため、オリエンテーション動画開発に取り組み実施した。

<進路に関する支援>

進路指導は、体系的に行われている。

<入国・在留に関する指導及び支援>

入国・在留に関する指導は、丁寧に定期的に行われている。昨年度に引き続き、社会問題となっている資格外活動の時間オーバーについて、オリエンテーションで再三、アルバイト関連の指導を行った。Google spread sheet による管理も軌道に乗っているが、卒業後の在留資格の期間更新において、資格外活動の時間オーバーが発覚する事例が発生してしまっている。

<教育環境>

教育環境については、概ね問題はない。

<入学者の募集と選考>

学生募集、選考は、概ね問題なく行われているが、コロナ禍による応募者減は継続しており、質の維持とともに、量の確保が課題となっている。

<財務>

財務状況については、とりたてて問題はない。

<法令遵守>

コンプライアンスに関しては、昨年度同様に推進体制に基づき行われている。

<地域貢献・社会貢献>

コロナ禍による地域交流は中断が続いており、次年度に通常状態への復帰が望まれる。